

災害公営住宅 建設に着手



迫町大網の災害公営住宅建設予定地での起工式(9月17日)。関係者が見守る中、布施孝尚市長が工事の安全を祈願し、くわ入れを行いました。

災害公営住宅の立面図

平屋建て



2階建て



【上】構造：木造平屋建て(2LDK)／入居人数：1～3人程度／延床面積：57.96㎡【下】構造：木造2階建て(3LDK)／入居人数：3～5人程度／延床面積：81.14㎡

市内被災者向け 4地区60戸を整備

迫、東和、中田、豊里 25年度中の入居目指す

市では、東日本大震災時に市内に在住し、全壊などにより家屋を失った人々を対象に、災害公営住宅の建設を進めています。

市の災害公営住宅は、市内4地区6団地に60戸の建築を計画。その内、迫地区32戸については「登米市木造災害公営住宅建設推進協議会(齋藤司会長)」と協定を締結し、市内で生産・加工されたスギ材などを多く使用した木造住宅を建築することになっています。

建築場所は、入居希望者の意向を考慮し、迫町大網地区

と南元丁地区の2団地に32戸、中田町加賀野地区に9戸、東和町米谷の目面地区2団地に9戸、豊里町横町地区に10戸を建築します。入居予定が65歳以上を含む世帯が過半数を占めていますので、各団地とも歩ける範囲で日常生活に支障のない地区を選定しています。

これまで、迫地区の造成工事を発注。各団地とも本年度末の入居を目指し、建設準備を進めています。

災害公営住宅への入居者を募集

市では、現在建設を進めている災害公営住宅への入居者を募集します。入居対象者

は、東日本大震災時に市内に在住し、住宅を失い自力での住宅確保が困難で、全壊や大規模半壊などにより住家の解体をされた人を対象にしています。

対象者にはこれまで2回の意向調査を実施し、入居者の取りまとめを実施してきました。意向調査から事情が変わり入居を希望される人や、入居希望でこれまで申し込みをされていない人などは、

早めにお問い合わせください。

市内の民間賃貸住宅(アパートなど)に入居し、その住宅が解体などにより継続入居が困難となり転居した場合も、災害公営住宅の入居対象となる場合があります。詳細については、お問い合わせください。

【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(建築係)
02220(34) 2316

迫地区の災害公営住宅を建設

被災された方々に木のぬくもりで癒やしを

登米市木造災害公営住宅建設推進協議会は、市内の建設業協会、建設職組合、製材所、森林組合で構成されています。協議会は、震災で被災された皆さんの生活再建の基盤となる災害公営住宅を、市内の関係者が一致団結して建設することを目的に設立しました。登米市の気候風土と調和した温かな木造

住宅を提供したいとの思いからです。木の住まいは温かく、その香りがそこに住む人たちの心を癒やし安らぎを感じていただけることでしょう。さらに地域の木材を使うことで、水士保全や温暖化防止といった森林の公益的機能の発揮にも寄与します。



市木造災害公営住宅建設推進協議会 事務局長 佐藤 茂

災害公営住宅の建設に当たっては、被災された皆さんが一日も早く落ち着いた暮らしをしていただくことができるよう、協議会の力を結集して取り組んでいきます。